The relationship between outdoor sport participants' place attachment and pro-environment behavior in natural areas of Japan for developing sustainable outdoor sport tourism

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2020-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 上杉, 杏 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2003295

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　甲第 78 号

The relationship between outdoor sport participants' place attachment and pro-environment behavior in natural areas of Japan for developing sustainable outdoor sport tourism

（持続可能なアウトドアスポーツツーリズム開発に向けた日本の自然地域におけるアウトドアスポーツ参加者のプレイスアタッチメントと環境配慮行動の関係）

上杉　杏（うえすぎ　あん）

博士（スポーツ健康科学）

論文審査結果の要旨

【研究目的の特徴･独創性･論理性】

本研究は、特に日本の自然地域におけるアウトドアスポーツ参加者を対象に、アウトドアスポーツ体験がプレイスアタッチメントと呼ばれる地域愛着を通してその地域への環境配慮行動意向に与える影響を明らかにすることを目的としている。観光立国戦略を進める日本において、地方での交流人口増加を目指す自然地域活用のためのツールとしてのアウトドアスポーツの役割や、開発を進める上で必要となる環境教育プログラムのための基礎となる資料を収集した点が、本研究の特色である。日本ではアウトドアスポーツと地域愛着に着目した研究は見られないため、海外の先行研究を丁寧にレビューしており、今後の自然地域開発のためのベースラインとしても評価できる。

【研究方法の妥当性】

研究方法は妥当であり、十分検討された研究枠組みに基づき、追試可能な記載が行われている。調査対象地域に関して、開設からの年数の少なさを指摘されたが、日本国内の事例としては明確な自然地域開発意向と観光客の地方誘致を目指した地域・施設であるため、妥当なものであったと考えられる。統計処理も適切ではあるものの、サンプル数の更なる確保による継続研究が期待される。また、質問項目においては、より日本人にあったワーディングの検討が期待される。

【結果・知見の新しさ】

研究結果については研究目的・方法に基づいて、客観的に記述されており、図表も適切に挿入されている。先行研究とは異なり、本研究ではアウトドアスポーツを体験できる機能的なニーズを満たす場所への依存度（PD）が環境配慮行動意向に影響を与えている点が、新しい知見である。

【考察および結論の妥当性】

結果の新規性は上述のとおりであり、結果に対する先行研究との比較検討やそれに

基づく論理的な考察と、今後のアウトドアスポーツ施設運営やプログラム開発・展開に対する提案を行っている点が評価できる。本研究対象施設の少ない開設年数の影響にも触れ、研究の限界を踏まえた上で適切な考察を行っている。

【研究の当該分野における位置づけ】

近年、本数が多くなったスポーツツーリズム研究では、スポーツの展開が地域の交流人口増加や地域経済への影響をテーマにしたものが多い中で、自然地域におけるアウトドアスポーツの与える参加者の自然環境に対する意識や行動意向を明らかにしようとした点は、今後、重要な研究テーマになる先駆けとして評価できる。

【質疑に対する応答の適切性】

質疑に対して、博士の学位を授与するに相応しい、適切な応答を行った。

【論文審査の結果】

博士論文、および審査結果において、博士の学位を授与するに相応しい水準にあると考えられるため、合格とする。